

令和7年度使用中学校教科用図書
調査研究結果報告書

音楽・器楽



京築教育事務所管内教科用図書調査研究協議会

中 学 校 教 科 書 一 覽

教科書種目	音 楽（一般）
-------	---------

[illegible]

教科書種目	音 楽 (器楽合奏)
-------	------------

[illegible]

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽 (一般)	1 7	教出	中学音楽 音楽のおくりもの

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	音楽科の目標を、着実に達成できるような教材や学習活動が充実している。歌唱・鑑賞・創作教材は、各学年生徒の発達段階や能力に即した適切な扱いである。
	2 内容に関する配慮事項	学習指導要領の各学年の目標や内容に対応した題材が、系統性と発展性をもって組織され、その題材を軸に教材が配置されている。 教材は全学年を通した領域・分野ごとの系統性に基づいて配置され、無理のないステップアップと学力の定着に配慮されている。 生徒への助言、解説が適切になされており、写真・図版なども学習に応じ、生徒の興味・関心を引き出すようなものが用意されている。
	3 分量	教材は、各学年の授業時数とカリキュラムマネジメントの実態に応じて過不足なく扱われ、各教材は学習内容が明示されるとともに、活動の手順やポイントが簡潔に表記されるなど分量は適切である。
	4 使用上の便宜	他者と協働しながら表現を工夫したり音楽や演奏のよさや価値を考えたりする学習を展開するため、キャラクターによって具体的な内容を示したり、〈Active!〉〈表現の仕方を考えよう〉〈話し合おう〉で考えたことを交流させやすいように配慮されている。 多彩な楽器が登場する鑑賞教材では、楽器の特徴を捉えたイラストと、巻末の写真資料で詳しく確認できるよう工夫されている。
	5 印刷・製本等	楽譜や文字は適切な大きさと、鮮明で読みやすい配慮がされている。また、印刷は鮮明で、写真や挿絵が適切に施されており、多様な生徒に使用されるための配慮がされている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く事ができる内容になっている。 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。

	7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽（一般）	27	教芸	中学生の音楽

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	1年及び2・3年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。また、意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、考えたいポイント、学習に必要な情報が明確に示されており、適切に工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして表現や鑑賞の活動を進めたりできるよう、教材が適切に配置され、学習のねらいも分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活をつなぐことが出来るよう配慮されている。 また、紙面及び二次元コードのデジタルコンテンツには、生徒の興味・関心に応じて活用できる資料が豊富に用意されており、協働して学習を進める場面も設定されるなど十分に配慮されている。
	3 分量	全体を通して、過不足のない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。
	4 使用上の便宜	知覚・感受したことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材において、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されている。 ICT機器を活用した学習への対応がなされており、歌唱教材では、曲ごとに付いている二次元コードにアクセスすることによって、旋律とカラピアノを聴くことが出来るなど、タブレット端末を使用して個人での取り組みも出来るようになっている。
	5 印刷・製本等	楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるように配慮されている。 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目できるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障がいなどをもつ生徒への配慮も行き届いている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる内容になっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることが出来る内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く事が出来る内容になっている。

	4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 [共通事項] を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。 7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	--

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽 (器楽)	1 7	教出	中学器楽 音楽のおくりもの

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	1年と2・3年の各学年の目標及び内容を踏まえて精選された題材と教材によって、必要な範囲の内容が十分かつ適切に扱われるよう配慮されている。基礎的・基本的な奏法が身につけられるよう題材が各楽器見開き左上に示され、教材ごとに焦点化された学習のめあてが明記され、習得した知識や技能を生かして表現する曲へ着実に到達できるよう工夫されている。
	2 内容に関する配慮事項	各楽器の「まとめの曲」を掲載することで、題材の学習指導から学習評価まで一体化した、きめ細かい配慮がなされている。 現代の生徒の生活や心情に即した教材を取り上げ、写真や学習に関連したWEB上の資料を効果的に用いたりして、生徒の主体的な学びを引き出すよう配慮されている。
	3 分量	各学校や生徒の実態に応じ、基礎・基本の部分と選択できるオプション部分の教材を組み合わせることにより、無理なく学習が進められるよう配慮されている。
	4 使用上の便宜	楽器ごとのインデックス、合奏の難易度表示や活動例を表すアイコンが分かりやすく示されるなど、興味・関心に対する配慮がなされている。 明確な学習のめあてのもと、生徒の興味関心に配慮した教材が用意されており、主体的な学習を引き出せるよう扱いが工夫されている。
	5 印刷・製本等	〈リコーダー運指表〉などの巻末折込を有効に用いて、生徒自身が随所で確かめながら学習に取り組むことが出来るよう工夫されている。 楽譜の大きさ、文字の大きさ、文中の改行位置、写真・図版の大きさ及びレイアウト、イラスト形状など、細部にわたり配慮されている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わることができる内容になっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴く事ができる内容になっている。 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 [共通事項]を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。

	7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。 9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	---

教科書種目	発 行 者		教科書名(シリーズ)
	番 号	略 称	
音楽（器楽）	27	教芸	中学生の器楽

項 目		項 目 毎 の 調 査 研 究 結 果
各教科共通の選定の観点	1 内容の範囲及び程度	教科及び各学年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から適切なものとなっている。
	2 内容に関する配慮事項	楽曲の内容は、生徒の心情に合ったものが、様々な習熟度に応じた編曲で取り上げられており、極めて適切なものとなっている。また、歌唱教材、鑑賞教材で扱われている作品を、実際に楽器で演奏することで「音楽」と「器楽」の連携が図れるよう、適切に配慮されている。 人が楽器を演奏することについて、社会とのつながりの中で理解することができるように工夫されている。
	3 分量	各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。また、分量も適切である。
	4 使用上の便宜	プロの演奏家の写真やメッセージなどが豊富に掲載され、楽器への興味・関心・意欲を高めるために適切な内容となっている。 楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技法の習得に配慮されている。
	5 印刷・製本等	全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
教科ごとの選定の観点		1 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる内容となっている。 2 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけることができる内容になっている。 3 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる内容になっている。 4 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる内容になっている。 5 〔共通事項〕を要として各領域や分野の関連を図ることができる内容になっている。 6 音楽活動を通して、それぞれの教材等に応じ、音や音楽が生活に果たす役割を考えさせるなどして、生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感することができる内容になっている。 7 表現及び鑑賞の各活動において、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることができる内容になっている。 8 歌唱及び器楽の活動において、生徒が我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるような内容になっている。

	9 創作の活動において、理論に偏ることなく、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験ができる内容になっている。 10 鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材（楽曲）を選択することができる内容になっている。
--	---